

住宅宿泊事業届出住宅への立入検査結果について

1 立入検査実施期間

平成 31 年 2 月 28 日～令和 2 年 2 月 18 日

2 立入検査実施届出住宅数及び実施回数

96 件 (97 回)

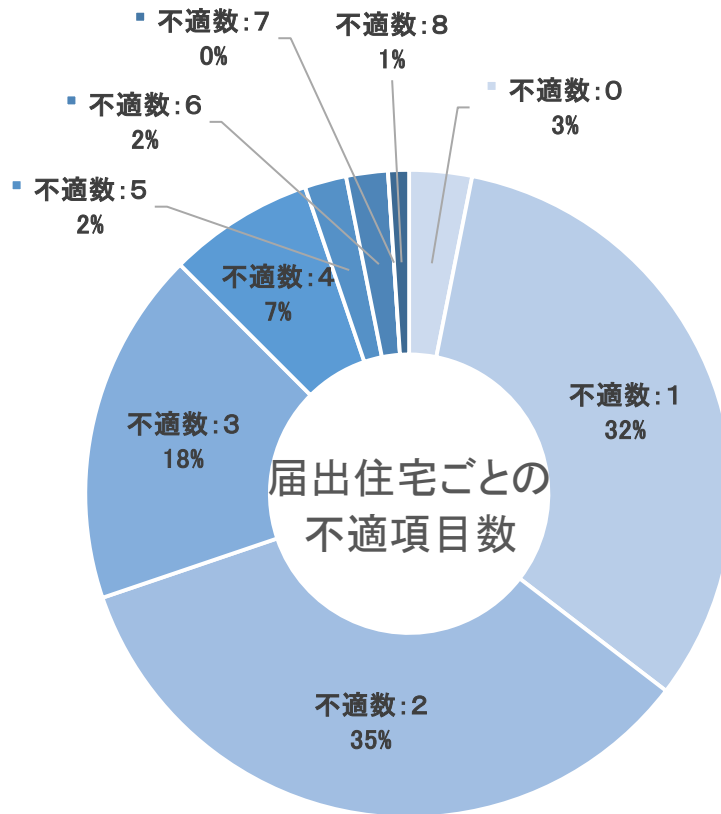
3 立入検査実施内容

「4 (3) 立入検査実施結果詳細」のとおり 21 項目について実施した。

4 立入検査実施結果

(1) 届出住宅ごとの不適項目数

下図のとおりであった。なお、平均不適項目数は 2.1 であった。



(2) 主な不適事項

- ① 宿泊者名簿の記載内容（宿泊者の氏名、住所、職業、宿泊日及び連絡先、外国人旅客の場合は国籍及び旅券番号）が不足していた。
- ② 住宅宿泊事業実績の定期報告の内容と宿泊者名簿の記録が一致しなかった。
- ③ 外国語を用いた災害発生時の緊急連絡先に関する案内がされていなかった。

(3) 立入検査実施結果詳細

大項目 (検査項目)	小項目 (検査内容)	指摘のない住宅数 (%)	大項目で指摘のない住宅数 (%)
届出内容について	①届出者の商号、名称又は氏名及び住所など届出事項に変更はないか。	88 (92%)	85 (89%)
	②届出時に提出されている図面と構造設備に変更はないか。	89 (93%)	
宿泊者の衛生確保	①届出住宅について、各居室の床面積に応じた宿泊者数の制限が守られているか。	92 (96%)	92 (96%)
	②定期的な清掃及び換気が行われ、届出住宅内の衛生的な環境が確保されているか。	96 (100%)	
宿泊者の安全確保	①届出されている宿泊者の安全確保のために必要な措置が行われているか。(避難経路図の掲示、非常用照明器具の設置 他)	84 (87%)	
外国人観光旅客への対応	①外国語を用いて、届出住宅の設備の使用方法に関する案内があるか。	96 (100%)	72 (75%)
	②外国語を用いて、移動のための交通手段に関する情報提供があるか。	96 (100%)	
	③外国語を用いて、火災、地震その他の災害が発生した場合における通報連絡先に関する案内があるか。	72 (75%)	
宿泊者名簿の備え付け等	①正確な記載を確保するための手段は適切か(対面又は ICT を使用した本人確認)。	82 (85%)	14 (15%)
	②名簿の保管状況は適切か(保管期間、保管場所、個人情報保護対策)。	86 (90%)	
	③名簿の記載内容は適切か(宿泊者の氏名、住所、職業、宿泊日及び連絡先(横浜市独自)、外国人旅客の場合は国籍及び旅券番号(旅券の写しで代用可))。	18 (19%)	
周辺地域の生活環境保護	①周辺地域の生活環境への悪影響防止に関し必要な事項の説明が行われているか。	96 (100%)	96 (100%)
	②説明の内容は適切か。	96 (100%)	
	③外国人旅客に対する説明が適切に行われているか。	96 (100%)	
苦情等の処理	①周辺住民等からの苦情に対応するための体制が整っているか。	96 (100%)	96 (100%)
	②周辺住民等からの苦情に対して迅速かつ適切に対応しているか。	96 (100%)	
住宅宿泊管理業への委託	①家主不在型の場合、住宅宿泊管理業者への委託は適切に行われているか。	96 (100%)	
宿泊サービス提供契約の締結の代理等の委託	①宿泊サービス提供契約の締結の代理等の委託が適切に行われているか。	93 (97%)	
標識の掲示	①標識の掲示は適切に行われているか。	83 (86%)	
定期報告の実施	①住宅宿泊事業の実績報告が適切に行われているか。	64 (67%)	
横浜市条例の順守	①届出住宅の所在地の用途地域が第1種低層住居専用地域又は第2種低層住居専用地域の場合、本市条例の規定が順守されているか。	95 (99%)	